

Ruby biz グランプリ 2020 募集要項

1. 目的・趣旨

プログラミング言語 Ruby の特徴を活かして、新たなサービスを創出しビジネスを継続的に展開している事例※を顕彰することにより、Ruby によるビジネス展開の優位性を国内外に広く PR し、Ruby でのビジネスチャンスのさらなる拡大を目指します。

※Ruby を使った商品・サービスが、ビジネス領域において、多数の顧客に利用され、また継続して顧客価値の向上に努めている成長事例が対象

2. 主催

Ruby biz グランプリ実行委員会

3. 募集内容

(1) 募集対象

Ruby を使った自社商品・サービス等で、Ruby の特徴を活かし、新規性、独創性、市場性、将来性に富んでおり、今後継続的に発展が期待できるビジネス事例を募集します。

概ね 1 年以上ビジネスが継続されている国内外の事例を対象とします。

※主な対象事例は、クラウドを利用した SaaS、PaaS、単独パッケージ等

(2) 応募資格

企業、団体及び個人（任意団体を含む）

※過去の応募事例についても再応募が可能です。（但し、大賞受賞事例は除きます。）

4. 応募方法

応募資料（所定の応募用紙及び参考資料※）を Ruby biz グランプリ実行委員会事務局宛にメールに添付してご提出ください。また、応募事例の PR に使用しますので、「企業ロゴ」及び「サービスロゴ」（ai データ及び PDF データ）をあわせてご提出ください。

その際、メールのタイトル（件名）は、『Ruby biz グランプリ』応募書類送付【団体名】としてください。

E-Mail : rubybiz@joe2.pref.shimane.jp

なお、募集要項及び応募用紙は、Ruby biz グランプリ実行委員会のホームページからダウンロードできます。応募用紙の提出にあたっては、PDF 形式等に変更せず Word ファイルのままご提出ください。

URL : <https://rubybiz.jp>

※参考資料は、審査の参考となる説明書、カタログ等の資料です。

5. 応募先・問い合わせ先

Ruby biz グランプリ実行委員会事務局

（島根県商工労働部産業振興課情報産業振興室）

TEL : 0852-22-5621

E-Mail : rubybiz@joe2.pref.shimane.jp

URL : <https://rubybiz.jp>

6. 応募締切

2020 年 9 月 18 日（金） 17 時 ※必着

7. 審査基準

Ruby biz グランプリの主な審査評価ポイントは以下のとおりです。

(1) 事業の成長性と持続性

①新規性・独創性・優位性があること

- ・当該サービス創出の着目点（背景・動機・目的）、事業戦略
- ・独創的なアイデアに富んでいるか、他のサービス等との差別化・優位性があるか

②市場性・成長性があること（事業化の成果・実績）

- ・近年3年以内の売上高・顧客数等の伸び率（成長曲線が描かれていること）
- ・顧客ニーズに応えるための創意工夫（事業検証・フィードバック・広報等）

③将来性があること（今後の展望）

- ・中長期ビジョンが明確であり、その実現性が高いこと（市場動向を的確に把握）
- ・成長軌道に乗せるための創意工夫点（持続可能な設計・仕組みであること）

(2) Ruby の関わり方

①アーキテクチャ図等を用いたシステムの説明

【期待する技術領域の例示】

- ・Web アプリケーション
- ・IoT（エッジコンピューティング、センサーデバイス等）、機械制御
- ・インフラストラクチャー
- ・データ分析・活用

②Ruby の採用理由、実際に使って実感した Ruby の強み・メリット

③Ruby の普及啓発・人材教育の貢献

(3) 事業の社会的な影響度（事業の実効性・インパクト）

- ・産業や業界の発展や地域社会・経済の向上等への貢献度、波及効果

(4) その他独自の特色ある事項、アピールポイント

8. 審査方法

有識者で構成される審査委員会において、以下の手順により審査を行います。

(1) 選考方法

応募資料（応募用紙及び参考資料）による書類審査で、審査基準に照らし合わせ、5点程度を選考し、各受賞企業を決定します。

なお、審査の過程において、確認すべき事項が発生した際には、連絡担当者にお問い合わせを行う場合があります。また、審査の内容に関するお問い合わせには、お答えできませんので、ご了承ください。

(2) スケジュール

① 応募受付：2020年6月15日（月）～9月18日（金）

② 応募事例のPR：2ヶ月程度PR

③ 選考：2020年10月下旬

④ 表彰式等：2020年12月16日（水）（島根県松江市内）

※登壇者1名の旅費を支給します。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、表彰式をリモート開催又は中止する場合があります。

⑤ 表彰事例の広報：1年間プロモーション動画等によりPR

(3) 審査選考委員

委員は下表のとおりです。(敬称略)

委員長	まつもと ゆきひろ	Ruby アソシエーション 理事長
委員	笹田 耕一	Ruby アソシエーション 理事 クックパッド株式会社
委員	寺田 雄一	株式会社オープンソース活用研究所 代表取締役所長
委員	中村 建助	日経 BP 社 技術メディア局 局長補佐
委員	森 正弥	Ruby アソシエーション 評議員 デロイトトーマツコンサルティング合同 会社 執行役員

(委員については 50 音順にて表記)

9. 各賞・表彰

- (1) 大賞 2 点程度 (表彰状、記念品、副賞 100 万円)
 - (2) 特別賞* 3 点程度 (表彰状、記念品、副賞 30 万円)
- *特徴的な取り組みと認められるもの

10. 応募事例及び受賞事例のPR等

(1) 応募事例のPR

- ・応募された事例は、選考期間中 (2 ヶ月程度) に当実行委員会のホームページで紹介するほか、一般財団法人 Ruby アソシエーションの以下サイト「投稿版事例紹介」にも掲載するなど内容を広く PR させていただきます。

<https://www.ruby.or.jp/ja/showcase/light>

希望される応募者は、応募用紙の 8. 応募事例の PR の欄にサービスの特徴等を記載してください。

- ・応募された取り組み内容は、Ruby biz グランプリ実行委員会等の活動において、広報・プロモーション等で活用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

(2) 受賞事例のPR

- ・受賞事例は、表彰式後にプロモーション動画等を制作して、一定期間 PR させていただきます。表彰式後に PR 方法等について確認のため、問い合わせを行う場合があります。

11. 応募資料の取扱い

- ・提出された応募資料 (応募用紙及び参考資料) の内容は、上記 PR の用途以外で一切外部公開致しません。
- ・審査選考委員の全員から秘密保持誓約書を徴することで、秘密保持を担保しています。

12. 応募上の留意事項

- ・参考資料がある場合は、取り組み内容を把握するうえで必要な最小限の分量とし、A4 サイズ (縦・横問いません) の電子データに加工のうえ (上限 50MB)、応募用紙とあわせて送付してください。
- ・画像等を参考資料の一部として用いることも可能です。ただし、第三者の著作権、肖像権、プライバシー等を侵害することのないよう十分ご留意ください。
- ・応募資料受領後、事務局等から内容の問い合わせを行う場合がありますので、その際は、ご対応のほどよろしくお願いたします。